

サポートチームだより

「部活動地域移行とは!？」

を掲載しています。↓ ↓
<https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ky/bukatsuto-wa.html>



※QRコードは
(株)デンソーウ
ェブの登録商
標です

「部活動の地域移行フォーラム」開催

～子どもたちの持続可能なスポーツ環境を考える～

〈地域の子どもたちのために〉

令和6年(2024年)12月16日(月)にかでる2・7において、「部活動の地域移行フォーラム」(主催:北海道教育委員会)が開催され、十勝教育局から 教育支援課主査 有働 雅哉 が参加しました。このフォーラムは「令和6年度地域スポーツ連携・協働再構築推進プロジェクト(スポーツ庁委託事業)」の一環で実施され、各市町村担当者や学校関係者などを対象として開催されました。

会場には300名以上(主催者発表より)の関係者が参加。フォーラムの開催に当たり北海道教育庁学校教育局長 伊藤 伸一 より挨拶があり、「地域の子どもたちのためにどう進めたら良いかを考えていただき、今後の取組に活かしていただきたい」と述べました。

〈地域の未来を支えてほしい〉

フォーラムでは「部活動の地域連携・地域クラブへの移行と地域スポーツ環境の整備」と題して、スポーツ庁地域スポーツ課 課長補佐 竹河 信裕 氏(=右写真)による基調講演が行われました。

講演では各種資料に基づき取組の現状や紹介などがされ、自身の体験等を織り交ぜながら説明がありました。竹河氏は講演の中で、取組によって「地域の未来を支えてほしい」と参加者に述べられました。



講演する竹河氏

〈各氏意見を交わす〉

基調講演後には、「子どもたちの持続可能なスポーツ環境の再構築に向けて」と題し、4名のパネラー(=右図)によりパネルディスカッションが行われました。

この中で井内氏は「仕組み作りは学校ではできない。市町村教育委員会が取り組む必要がある。」とする一方、学校も「部活動が担っていた役割を『棚卸し』する必要がある」とし、生徒指導など部活動が担ってきた役割について見直しの必要性を述べました。

石塚氏は「(担当者だけに任せず)庁舎内での(組織的な)連携が重要」とし、また、民間企業との連携の在り方についても述べられ、様々な形での取組を求めました。山本氏は「生徒のみならず地域の方にとっても良いスポーツ・文化芸術環境を整備してほしい」とし、「小さいステップを積み重ね、できるところから取り組む」ことが必要と述べられました。竹河氏は、「指導者をサポートする仕組み」について述べ、指導者となる方は限られる場合があるが、指導者をサポートする活動なら可能という方は多い場合があると述べ、取組の参考にしてほしいとしました。

【パネラー】

安平町教育委員会教育長	井内 聖 氏
スポーツデータバンク株式会社 代表取締役	石塚 大輔 氏
北海道教育大学岩見沢校 キャンパス長	山本 理人 氏
スポーツ庁地域スポーツ課 課長補佐	竹河 信裕 氏



意見を交わす4氏
(左から 井内氏、石塚氏、山本氏、竹河氏)

【発行・お問い合わせ先】

北海道教育庁十勝教育局

北海道教育庁十勝教育局教育支援課 主査(地学協働)

住所:〒080-8588 帯広市東3条南3丁目

電話:0155-26-9243

E-mail:udou.masaya@pref.hokkaido.lg.jp